

平成28年度国民保護訓練

- I 訓練概要
- II 編 成
- III 知事行動

I 今年度訓練の概要(1訓練全般)

日時	平成29年2月6日(月)12:00~17:00		場所	JA会館(長崎県長崎市出島町1-20)7階
目的	<p>国との共同による国民保護図上訓練を実施し、緊急対処事態時における突発事案対処及び国民保護措置等の遂行能力向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係機関相互の情報共有と連携強化 ○ 国民保護計画・対策本部運営マニュアルの見直し 			
主要訓練内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 事案発生に応ずる参集・対応体制の確立 2 事態認定前の災害初動対応要領(情報収集・共有、救助等) 3 事態拡大後の国民保護対応要領(避難、犯行グループの制圧) 4 共通(その1):関係機関の相互連携(国一県一市一関係機関) 			
参加機関 () 内協力機関	政府機関	内閣官房、消防庁	指定地方公共機関等	長崎県警察本部、長崎市消防局、陸自西部方面総監部、第16普通科連隊、海自佐世保地方総監部、第22航空群、自衛隊長崎地方協力本部、九州防衛局、長崎海上保安部、バス協会、DMAT、県市医師会
	地方公共団体等	長崎県、長崎市 長崎振興局、雲仙市 (佐賀県、大分県、部外機関)		
	指定公共機関	日本赤十字社長崎県支部	合計	23コ機関 約200名
首長の参加	長崎県知事、長崎市長		訓練方式	状況付与型のロールプレイング方式 (シナリオ方式ーセミブラインド方式ーブラインド方式への発展型)
訓練の公開	公開(住民参観はなし。)	想定の特徴	・外国人観光客を巻き込んだテロ ・人質救出(治安出動)の調整	過去実績 図上共同:1回(H20年) 図上単独7回 実動共同:1回(H23年) 実動単独2回

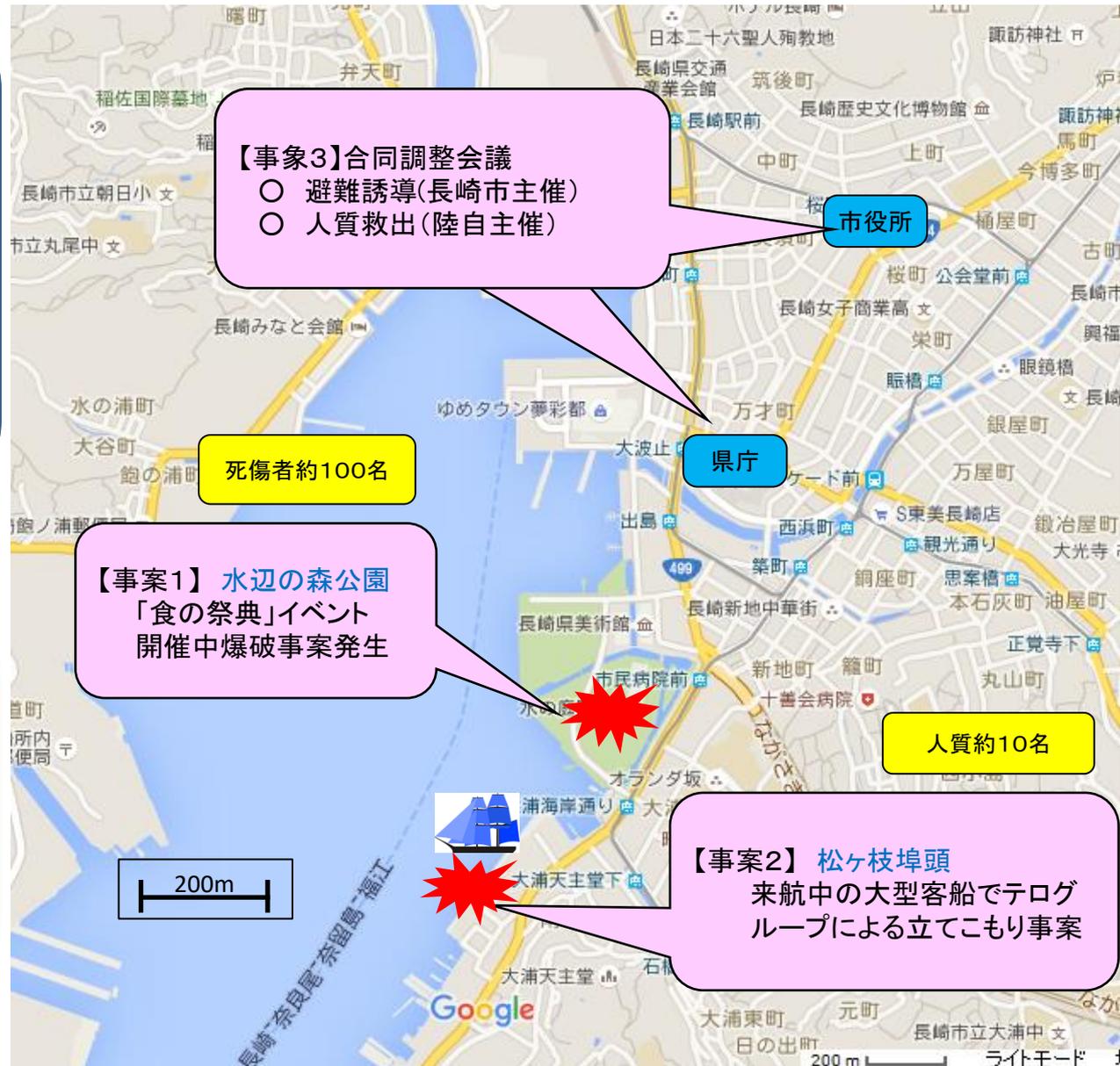
I 今年度訓練の概要(2想定概要)

◎ 想定の特徴

- ・外国人観光客を巻き込んだテロ対応
- ・人質救出(治安出動)の調整

◎ 周辺情勢

- ・福岡空港に着陸した旅客機が爆発炎上
- ・九州西方沖海上で不審船が活動中



I 今年度訓練の概要(3全般時程)

時 間	項 目	内 容
午前中	訓練準備	移動等
12:00	訓練開始	・各機関等の代表者に「犯行予告」のメール送信 ・呼集、参集(JA会館)
13:00	第1事案	水辺の森公園における爆破事案
13:00 ～ 14:00	事案対応	13:25～35 県特殊重大災害対策本部会議、市警戒本部会議 13:35～ 現地調整所の運営
14:00	第2事案	松ヶ枝埠頭大型客船内における立てこもり
14:00 ～ 15:00	事案対応	14:20～40 県災害対策本部会議、市警戒本部会議
15:00	事態認定	法定通知
15:00 ～ 16:10	事案対応 (第3事象)	15:10～ 合同調整会議(避難:市、人質救出:陸自)
16:10	訓練終了	終了後、研究会、終了式(～17:00)

II 訓練編成(全般)

訓練総責任者

知事 中村 法道
 (副) 副知事 濱本 磨毅穂 (補佐) 危機管理監 西浦 泰治

コントローラー統括責任者

危機管理課参事 青木 広治

総務企画・状況付与班

班長 危機管理課

記録・評価班

班長 危機管理課(無)

関係機関

※一部プレイヤーとしても参加

内閣官房、消防庁、陸上自衛隊、海上自衛隊、自衛隊
 長崎地方協力本部、九州防衛局、長崎海上保安部、
 県警察、長崎市消防局、日本赤十字社長崎県支部、
 DMAT、県・市医師会、バス協会

プレイヤー統括責任者

危機管理監 西浦 泰治

県災害対策・緊急対処事態対策本部

本部長 知事 中村 法道

県特殊重大災害対策本部

本部長 危機管理監 西浦 泰治

会長

市緊急対処事態対策本部

本部長 市長 田上 富久

市警戒本部(認定前)

本部長 危機管理監 荒木 秀利

県市等合同調整会議

責任者 危機管理課長 陣野 和弘

訓練支援部統括責任者

消防保安室長 園田 秀昭

広報対応班

班長 広報課 平川 慎

研修等対応班

班長 危機管理課参事 青木広治

管理支援班

班長 消防保安室(保)植野 康成



01_参集直後の情報班の活動



02_危機管理監へ状況説明（情報班）



03_特殊重大対策本部会議



04_第1回合同調整会議



05_対応係の活動



06_指揮総括係の活動